

事業群評価調書(令和3年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	土木部 都市政策課	田坂 朋裕
施策名	3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	② 長崎市中央部のグランドデザイン	令和2年度事業費(千円)	※下記「2. 令和2年度取組実績」の事業費(R2実績)の合計額 11,818	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画テュンジ&チャレツジ2025 本文)		(取組項目)								
長崎市中央部では、都市・居住環境整備基本計画を策定し、新幹線開業に向けたまちづくりを進めてきましたが、さらにその先を見据えて、まちづくりの方向性を示すグランドデザインや重点4エリアにおける整備計画を見直し、計画的な都市基盤整備を進めるとともに、長崎スタヂアムシティプロジェクト等のまちづくりに貢献する民間都市開発への支援を検討します。		i) 新幹線開業に向けて、長崎駅周辺区域の機能的で魅力ある都市環境創出を目的とした、専門家と事業実施機関によるデザイン検討・調整 ii) 長崎港周辺におけるアーバンデザインシステムを活用した、先導性が高く、景観的に優れた施設整備の推進 iii) 長崎市中心部の交通結節機能の強化								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	長崎都心地域における民間都市再生事業計画の認定数(累計)	目標値①	2件	2件	2件	2件	4件	4件(R7)		令和2年に指定を受けた都市再生緊急整備地域(長崎中央地域)において、一定の要件を満たす民間都市開発事業について減税措置等を行うことで開発を支援する。 令和3年3月「長崎スタヂアムシティプロジェクト」が民間都市再生事業計画に認定された。引き続き、開発計画のある民間事業者と協議・調整等を行い、優良な都市開発の促進を図っていく。
		実績値②	0件(R元)							
	達成率②/①							—		

2. 令和2年度取組実績(令和3年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和2年度事業の成果等		
				R元実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R元目標	R元実績		達成率	
取組項目 i	○	1	都市再生推進事業		1,652	1,652	7,954		令和2年度事業の実施状況(令和3年度新規・補正事業は事業内容)  事業対象	【活動指標】	2		2
					2,298	2,298	7,433	2			3	150%	
					3,453	3,453	9,147	2					
			H21-					【成果指標】		10	12	120%	
			都市政策課	—	—	—	県、長崎市、民間事業者	デザイン調整が整った施設数の累計(施設)		13	16	123%	
					17								
取組項目 ii	○	2	環長崎港地域都市再生調整事業		7,799	7,799	6,363	環長崎港地域において、アーバンデザインシステムによるデザイン調整を行うことにより、周辺景観と調和した質の高いデザイン性と親水性を持った建造物群の整備と一連の地域形成に取り組んでいる。 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、アーバンデザイン会議等の開催が1回のみであった。	【活動指標】	13	15	115%	●事業の成果 ・新型コロナウイルスの影響もあり、アーバンデザイン会議等の開催は1回のみであった。完成した事業件数は0件であり、目標を達成できなかった。
					9,520	9,520	5,086			11	1	9%	
					9,926	9,926	3,579			11			
			H12-						【成果指標】	1	1	100%	
			都市政策課	—	—	—	県、長崎市、民間事業者		アーバンデザイン会議等の検討を経て完成した事業数(件)	1	0	0%	
						1							

取組項目 iii	○ 3	都市再開発支援事業				長崎駅前バスターミナル等の再整備に向け、周囲の土地・建物所有者など地域の皆様の意見を聞きながら、再整備の計画立案、事業手法等の検討を行う。	【活動指標】 地権者等に対する地元説明会の開催回数(回)				—
		(R3新規)R3-4	31,400	16,400	7,853		4				
		都市政策課	—	—	—		【成果指標】 事業計画案の策定	—			
	4	先導的官民連携支援事業				PPP/PFI事業の導入可能性調査の結果を踏まえ、地域住民や有識者の意見を聞きながら、松が枝地区の整備構想を策定する。	【活動指標】 地元意見交換会等の開催数(回)				—
		(R3新規)R3	11,165	11,165	9,147		3				
		都市政策課	—	—	—		【成果指標】 整備構想策定	1			

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	新幹線開業に向けて、長崎駅周辺区域の機能的で魅力ある都市環境創出を目的とした、専門家と事業実施機関によるデザイン検討・調整	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>長崎駅周辺エリアデザイン調整会議を通じて、長崎市交流拠点施設(MICE)やホテル、長崎放送(NBC)新社屋などについて周辺環境と調和したデザイン調整を実施してきた。令和3年度はJR九州新長崎駅ビルのデザイン調整を行っているが、駅周辺環境に大きな影響を及ぼす大規模施設であることから、継続的なデザイン調整が必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>長崎駅周辺では、JR九州新長崎駅ビルの開発など、今後も民間開発が予定されていることから、引き続き、円滑なデザイン調整を進める。</p>
ii	長崎港周辺におけるアーバンデザインシステムを活用した、先導性が高く、景観的に優れた施設整備の推進	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>これまで20年に亘り、先導性が高く、景観的に優れた施設整備のためのデザイン調整を行ったことにより、グッドデザイン賞を6度受賞するなど、全国的な評価を得てきた。その一方で専門家の高齢化が進み、世代交代の時期を迎えている。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>アーバンデザインシステムで築いてきた思想を、専門家と職員が一体となり過年度のデザイン検討事例を踏まえながら、次世代の専門家に引き継いでいく。</p>
iii	長崎市中心部の交通結節機能の強化	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>令和3年度に実施状況を踏まえ、事業の検証・課題を整理する。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>先進事例、事業者の意向の情報収集、地元の意見集約を行い、検討を進めていく。</p>

### 4. 令和3年度見直し内容及び令和4年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和3年度事業の実施にあたり見直した内容	令和4年度事業の実施に向けた方向性		
					事業期間	事業構築の視点	見直しの方向
			所管課(室)名	※令和3年度の新たな取組は「R3新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載			
取組項目 i	○ 1	都市再生推進事業	—	—	—	令和4年秋の九州新幹線西九州ルート開業後も長崎駅周辺土地区画整理事業区域内等でさらなる民間開発が進むと想定されることから、引き続き、長崎駅周辺エリアデザイン調整会議において周辺環境と調和したデザイン調整を円滑に進めていく。	現状維持
		H21- 都市政策課					
取組項目 ii	○ 2	環長崎港地域都市再生調整事業	—	アーバンデザイン会議について、新型コロナウイルスにより他都道府県との往来に制限がある場合は、リモート会議等による開催を実施していく。	—	アーバンデザイン専門家会議における若手委員の育成を進めながら、松が枝国際観光船埠頭の2バース化や県庁舎跡地など長崎港周辺で整備される施設についてデザイン検討を行い、魅力的な都市景観の形成を進めていく。	現状維持
		H12- 都市政策課					

取組 項目 iii	○	3	都市再開発支援事業	R3新規	⑧	令和3年度より長崎駅前バスターミナルの再整備に関する地元調整及び計画立案を2か年をかけて実施する予定で、R3の事業進捗に努め、引き続き、国の補助制度の活用を図りたい。	現状維持
			(R3新規)R3-4				
			都市政策課				
	4		先導的官民連携支援事業	R3新規	—	—	終了
			(R3新規)R3				
			都市政策課				

注:「2. 令和2年度取組実績」に記載している事業のうち、令和2年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点